

部活の継続について

中込中学校 三年 渡邊 莉央

みなさんは部活に所属していますか？近來部活から地域活動に変える地域移行が考えられています。

私は、部活は無くなつてほしくありません。

なので、部活動継続について提案します。

まず、部活のいい所はたくさんあります。

チームのみんなで同じ目標に向かって練習することで絆が深められます。

チームで話が割れてしまった時は自分の思うことをみんなに伝えることでチームに生かせるよりよいプレーができるようになりました。

なにより部活動で体力、共に気持ちの面が一番きたえられたと実感しています。

部活では、中学校対抗で大会がたくさんありますが、地域活動になると中学校として戦うことが無くなつてしまします。

どうしてこのような地域への移行が考えられているのでしょうか？その一つとして部活をする人が減っているからだと考えます。

部活に所属していない人は、クラブチームなどに通っているそうです。

なぜ部活ではなくクラブチームに所属するか考えたところ、二つの理由が浮かびました。

一つ目は、中学校に入る前からチームに入っていて続けていきたいと思う生徒がいるからです。

二つ目の理由は、クラブチームの方が実力があるからです。

私自身も、クラブチームの強さを知っています。

大会ではいつも上位にいたことをとても覚えています。

以上の二点から部活よりクラブチームを優先する人が多いと考えました。

地域活動では先生ではなく地域のコーチが教えてくれるようになるそうです。

部活動の地域移行には先生への負担も関係していると考えます。

平日は学校での仕事にプラス放課後の部活動、そして土日は練習試合や大会と休みがないように感じます。

なぜ先生への負担が大きいと思いますか？私は先生だけで責任を背負い、指導しなくてはならない状況だからだと思います。

外部コーチなどの指導者を入れて負担を無くしたり、生徒だけでできることを増やしたらいいと考えました。

部活に参加する生徒の減少、先生への負担、この二つの点から部活の地域移行が考えられていると思います。

そこで私が提案することは、部活の楽しさを知ってもらうこと、先生の負担を減らすことです。

この二つを具体的に説明します。

部活の楽しさを知ってもらうにはたくさん方法があります。

例えば新一年生への部活動体験のリニューアルはどうでしょうか。

実際、私は部活動体験期間が、もう少し長ければ全ての部活を体験したいと思っていました。

だから部活動体験期間を長くしたり、仮入部などの制度を増やしたりすれば部活動への興味が、もっとひき出せると思います。

もう一つの負担をなくすには、言ったように外部コーチをつけること、生徒だけできることを増やすなどがいいと思います。

特に生徒だけできることを増やすは、とても大切だと考えました。部長やキャプテンを中心に、自分たちに必要な練習を考えて、進められていたら、より団結できることにもつながると思うからです。

部活は人生において間違いなくかけがえない思い出になります。

私も毎日みんなと汗を流して練習した日々を忘れられません。

これから中学生になる子達にも部活の楽しさ、うれしさ、色々な思いを経験してほしいと思っています。

もちろん部活動には大変な面や辛いこともたくさんあります。

でもその辛さをチームのみんなでのりこえた時の充実感や達成感は何にも変えることのできない特別なものです。

そんな青春の一部である部活を今後も残していきたいませんか？私は部活をこれからもずっと継続させていきたいです。